

企画アイデア交流会を行いました。



令和3年6月4日(金)
10時00分～11時30分

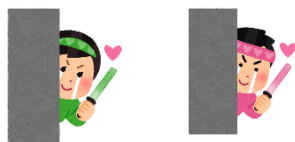
体験からお互いから楽しんで学びましょう！

交流会にお集まり
の皆さんは・・・



生涯学習課 事業担当

本日の進行
皆さんの企画運営のサポート



参加者の みなさん

家庭教育学級の企画運営の担当者
企画にお困りの方、どうかしたい、企
画と一緒に考えてみたいとお考えの方



事例発表者

企画事例を発表していただきました

令和3年度
PTA家庭教育学級
企画アイデア交流会

初めてのリモート体験、緊張したけれど、もっともっと話したいと思えました。

普段は会えない他校、他園の保護者の皆さんと話せるのはとても良い機会だと思いました。

話合いの時間が足りなかった。

自分でもなにかできるかもしれないと思いました。

おやつタイムもリラックスにつながりました!

グループワークでは、司会を決めておけばもっとスムーズに交流できたかも!進んで進行役をすればよかった!

「書き出して発表する」という方法で話しやすくなった。

当日のスケジュール



10:00

チェックイン
・自己紹介(氏名・団体名)

10:15

企画事例の発表

本日のゴール
みなさんが、
①他校園の担当者と交流、情報共有できる
②対面以外の方法でも考えてみようと思えること

10:25

質問やコメント

10:35

休憩

リラックスしましょう!

10:40

グループワークの準備

10:45

ブレイクアウトセッションを楽しみましょう

なごやかに交流できるように皆さんと準備しました

11:30

終了

最後のひと言振り返り、アンケートに回答いただきありがとうございました。

企画事例の紹介

対面講義もグループワークも行わない
家庭教育学級の企画について
発表していただきました。

保護者の皆さんの課題から、家庭教育学級の目的とゴールをしっかりと持ち続けようと思いました。

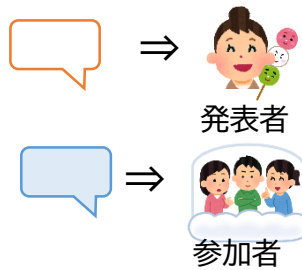
迷うこともありましたが、ひとりで悩まず、先生、講師、部員や前部長と、相談しながら進めています。

生涯学習課にも相談したり質問したりしています。



事例発表者

次のページに
続きます。



発表者のPTAのこれまでの取り組みと
今年度の企画を比較しながら発表していただきました。

これまでの 家庭教育学級

講師による
対面の講義

「対面でのワークは非常に満足度が高く、これを対面で行わずにどのくらい再現できるかが課題です！」



対面の
グループワーク

講師から
総評をいただきます



「企画にあたっては、学級の目的やゴールを共有しました」

「目的がしっかりしていれば、柔軟に企画できることがわかった！」

令和3年度の 家庭教育学級

テーマに沿って
講師から書面で講義

「書面で行うのも一つのアイデア！」

「掲示板に貼りだされたつぶやきには反応ができるように工夫したい」

「対面のグループワークを行わないといけないと思っていました…」

会員(全保護者)や先生に
テーマに沿ってつぶやきカードを
作成→掲示し共有→反応も共有する

「コロナ下だからこそ、家庭教育学級のような企画が必要だなと思いました！」

「小学生だと字がよめてしまうので、掲示以外の方法を考えないといけないが、講義のフィードバックの仕方が色々あることを教えていただきました」

「形態はこれから講師に相談して決めていきます」

講師から書面で
総評をいただきます



学習形式が対面以外の場合の

計画書の書き方ポイント

※HPには記入例を追加で掲載してます。参考にして下さい。

対面以外の学習形式は一日で終わるものとは限りませんから、日にちを入れられない場合は期間でも大丈夫です。

DVDや書籍で学ぶことも考えられますので、書籍名などを書くこともあるかもしれません。その際には著作権など気を付けましょう。

①「開催日時」は「期間」でも可能です。

②「助言講師」は教材（DVDや書籍など）でも可能です。

③「学習形式」は、**講師（教材でも）から学ぶ＋お互いから学ぶこと**を意識して書いてみましょう。

この2つの目的がわかるように書かれていれば大丈夫です。枠を広げても構いません。

交流会全体を通して



最後の皆さんからの一言とアンケートから、
皆さんがどのように感じたかを読み取ることができました。
いただいた感想などは今後の企画に活かしてまいります。
また、企画や運営についてのご相談は引き続き受け付けていますので、
交流会参加の有無にかかわらず、ご連絡ください。